

# 講義・演習概要 (シラバス)

第1部課程第122期 (平成26年4月8日～平成26年9月5日)

課 目 名	組織における部下の育成と危機時のマネジメント
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	<p>氏名 高木晴夫          &lt;プロフィール&gt;          法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント専攻教授          1973 年慶應義塾大学工学部 管理工学科卒業。同大学院工学研究科修士課程ならびに博士課程を修了。84 年ハーバード大学経営大学院 (ビジネススクール) 博士課程卒業。同校より経営学 博士号を授与される。慶應義塾大学大学院経営管理研究科 (ビジネススクール) 教授を経て、現職。          専門は組織行動学。          代表的な著作は          「プロフェッショナルマネジャーの仕事はたった1つ」(かんき出版, 2013)          「組織能力のハイブリッド戦略」(ダイヤモンド社, 2012)          『【新版】組織行動のマネジメントー入門から実践へ』 監訳 (ダイヤモンド社, 2009)</p>
ね ら い	<p>①上司は部下をどのようにマネジメントすればよいか、部下の動機付けをどのように高めればよいか、を理解する。          ②危機時のマネジメントで重要となる緊急対応会議の要点を学ぶ。</p>
講 義 概 要	<p>①テキスト「プロフェッショナルマネジャーの仕事はたった1つ」を事前読了し、その知識の根底とするための「配るマネジメントの基礎知識」(PPT 資料)を講義する。加えて、ある業務を遂行しているリーダーの実像を DVD で視聴し、その工夫と努力について討議する。          ②米国のケネディ大統領の就任直後に起こった「ピッグズ湾」侵攻事件と、その1年後の「キューバミサイル危機」をとりあげ (KBS ケース)、ケネディという同一人物のリーダーシップでなされた2つの危機対応のあまりにも異なる結末を検討する。ここから緊急対応会議の組織マネジメント問題を考察し、「集団浅慮」理論を学ぶ。授業中に DVD を視聴する。</p>
受講上の注意	<p>テキストおよびケースを事前読了するための「事前課題シート」を別途配布するので、必ず入手して目を通す事。</p>
使用教材	<p>テキスト、ケース、PPT、DVD</p>
効果測定	<p>なし</p>
そ の 他 (他の課目との関連)	

